



題字：塚口福成園

オリンピック、パラリンピック、高校野球などが開催され盛り上がる一方、大雨による水害や繰り返される緊急事態宣言がありました。大変な状況で下を向いてしまいそうになりますが、日々の利用者やスタッフとの関りが私たちが元気づけてくれます。また利用者家族からも感謝や労いの言葉をいただきます。本当に多くの支えを実感し、感謝しかありません。大変な状況だからこそ、大切なものに気づける。広報誌「ふふふ」はそんな日々の大切なものを発信し続けます。この思いが少しでもお届けできていれば幸いです。



写真：チャレンジ・コヤリバ

「ともに働き、ともに生きる」

昭和23年8月のヘレンケラー女史の来日を機に、9月1日～7日までの間、障害者の雇用促進運動が実施されたことで、9月は障害者雇用支援月間となっています。そのため、各自治体などで、障害者雇用について広く知ってもらうためのイベントや講演会なども多く開催されています。
今回はそれに合わせ、福成会が請け負っている仕事内容や自主製品を紹介します。

9月は 障害者 雇用支援 月間

受注作業 /

タオルの箱詰め

【杭瀬福成園】

検品をしてからタオルをたたみ、専用の箱に入れる作業を請け負っています。タオルの種類によって折り方や箱の入れ方も違うのですが、みなさま間違えないように気を付けながら取り組んでいます。

企業名:株式会社緑翠園
受注商品:今治タオル
作業内容:検品、折畳み、専用箱へ箱詰め



受注作業 /

和菓子の包装

【あいあい】

寶屋遊亀様より和菓子の下請け作業を頂いております。箱から出す・運ぶ・包材に包む・ラベルを貼る・数える・紐を結ぶ等、工程を分けることで全員が様々な工程を担えるようにしています。

企業:有限会社寶屋遊亀
受注商品:宝小槌、わらび餅
作業内容:包装、ラベル貼り、紐結び、箱詰め



受注作業 /

南京錠の組立

【塚口福成園】

南京錠の中身を見たことがある方は少ないと思います。南京錠では細かな11種類の部品を組み合わせて作製します。見学者からは「難しそう!」との感想が出てきますが、経験を重ねてきましたのでスイスイできあがります!

企業:株式会社ゴリン
受注商品:南京錠、自転車錠
作業内容:組立



受注作業 /

ペットフードの袋詰め

【チャレンジ・コヤリバ】

7月からペットフードの人気商品を取り扱っています。肉や魚の種類によって計量数が違うので、グラム数を見える化。牛乳パックで作った計量トレーを使用し、グラム数に気を付けています。多い時には一日360袋を仕上げます。以前はラベル貼りのみだったのですが、今では全てのお仕事を任されています。慎重に取り組んでいます。

企業:わんぱく株式会社
受注商品:ペットフード袋詰め
作業内容:ラベル貼り・計量・袋詰め・シーラー



自主製品 /

陶芸

【清流園】

できること、得意なことを活かしながら作業に取り組んでいます。1人で集中してオリジナル製品を作る方、話をしながら楽しんで参加する方など、自分に合うスタイルで参加しています。



自主製品 /

マスクチェーン

【サポートセンターまつば】

「マスクをおしゃれに身につけよう!」を目標に利用者と一緒にマスクチェーン製作を頑張っています。まだまだ感染症対策でマスク着用が必要な今!!おしゃれにマスクを身につけてみませんか?



ア-ト de ふ-ふ

夏編

各事業所でこの夏に作られた作品たちを紹介します。



『紙コップDE花火』
分場【清流園】



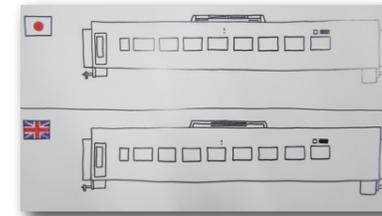
『うちわ』
南グループ【杭瀬福成園】



『水族館のさかなたち』
大久保 龍人【チャレンジ・コヤリバ】



『Summer Staff』
河地 久佳子【あいあい】



『日本の列車、イギリスの列車』
竹森 敦【塚口福成園】



『星に願いを“たなばた”』
虹班【サポートセンターまつば】

福成会の障害者雇用について

【総務】

福成会では、5名の障害がある方が勤務されています。今年の1月からチャレンジ・コヤリバで勤務されている川谷正幸さんは、定期清掃の他、食事準備にも取り組まれています。何事にも真面目で前向きに取り組む姿勢はスタッフからの信頼も厚く、頼りになる存在です。福成会で働いてみての感想や思いをお聞かしています。「初めて体験する仕事で戸惑いもありましたが、施設の利用者の方から声を掛けてもらうことで勇気づけられました。人とのコミュニケーション方法は無限にあり、そこから自分が何かをもらえる可能性も無限にあると思います。チャレンジ・コヤリバで働くようになってから、ないものを数えるよりも恵まれていることを数えられるようになりました。」



総務部採用担当
山木



みのりとセントラル利用者の就労紹介

【みのり】

仕事は、折りたたみコンテナの仕分けをしており、住まいは福成会のグループホーム(セントラル)を利用しているAさん。仕事終わりは疲れを癒すためにBARへ行くことを楽しみにしています。今はコロナの影響で行けない日々が続いています。グループホームのスタッフが生活面の悩みを聞き、仕事に対して前向きになれるようにみのりがサポートをし、サービスの調整や将来のことをことごとく一緒に考えて充実した生活ができるように支援者の皆で支えています。

福祉関連ニュース

NEWS

アビリンピックって?

【みのり】

障害のある方々が日々職場の中で培った技能を競う大会で、機械組立・プログラミング・洋裁など20種類以上の競技があります。全国大会(第44回)に、みのり登録者の釣井さんもパッキング製品の競技に出場され、参加することで人との交流が広がり、仕事のモチベーションもあがったと話されていました。

来て、見て、喫茶『はあぶらんど』

はあぶらんどは、塚口福成園の分場施設で、利用者が作業として、喫茶店で提供している飲食物の調理や接客をしています。尼崎市役所の近くにあり、3週間煮込んだ特製カレーと開店当時から値段の変わらないコーヒー(200円)、そして利用者の明るい接客が自慢のお店です。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

はあぶらんど

〒660-0051 尼崎市東七松町1丁目2-19 電話: 06-6401-6651

営業時間/9:30~16:00 定休日/土曜日・日曜日・祝日



各事業所からの『ふふふ』

清流園

春に植えたひまわりは満開になり、トマト・ナス・パプリカは収穫の時期を迎えています。自分たちで育てた作物たちは特別な味わいでした。秋にはさつま芋の収穫が待っています。次はコスモス、大根、カブを育てる予定です。

杭瀬福成園

活動で使う葉っぱの絵を描いてもらおうと、葉形に切った画用紙を提供しました。「できたよ。」と言われ確認してみると、葉形が魚に見えたのか骨を描いておられ、葉っぱの海を泳いでいました。

あいあい

クッキー作業中に洗い物をお願いすると、ゆっくりと洗い場まで持って行ってくださる利用者や早く洗い物をした利用者。それぞれの思いが詰まったクッキーなんだと、ふふふと思いました。

サポートセンターまつば

「大切な日を皆で祝い合う」を目的に今年度より毎月、誕生日会をおこなっています。普段にはない笑顔や他の利用者をお祝いしようと利用者同士で盛り上げようとされたり、「次は私かな?」と毎月楽しみにしてくれています。誕生日会では、みんなでハッピーバースデーを歌ったり、スタッフからメッセージカードのプレゼント、誕生日の方からのリクエストを取り入れた活動をおこなっています!!

塚口福成園

喫茶でコーヒーを飲み終えたお客さまが「見て!」とコーヒーカップを指差し教えてくれました。ドキドキしながら見てみると、カップの底にコーヒーの残りでかわいい♡マークができていました。教えてくださりありがとうございました。(写真はインスタグラムを見てください。)

チャレンジ・コヤリバ

今年度、就労移行では3名就職が決まりました。「コロナ禍で大変ななか、訓練やプログラムなど、しっかりと取り組んできた結果です。」と笑顔でスタッフに話してくれました。これからも利用者が笑顔で「就職が決まりました。」と報告ができるように支援を続けていきます。

尼崎市障害者就労・生活支援センターみのり

支援で外出することも多く、スマホのナビを頼りにしています。検索をかけて目的地へ。電車に乗ると1駅で最寄り駅に到着。駅からの道を駅員さんに尋ねると「乗ったん?歩いた方が早いよ」と言われてしまいました。

ショートステイぷちるぼ

時は日本シリーズ中の食後の余暇時間。3人掛けのソファ(両端)にマスクをした阪神ファンが二人。日中に通う事業所が違うお二人ですが、選手のファインプレーに対して一緒に盛り上がる姿に「趣味が同じって素敵だな」と思いました。

セントラル

公園清掃の仕事をされている利用者も、猛暑を乗り切るためのグッズ購入へ。売り場を何往復もして迷いに迷い、お気に入りのクールタオルを見つけることができました。「めっちゃ探したな。」と満足気に言いながら、この夏大活躍!もちろん仕事のモチベーションもアップしています!

ことのは

先日、就労移行支援事業を利用の方より「就職が決まりました」とお電話をいただきました。「今まで気にかけてくれてありがとう」というお礼と「不安だけど頼りながら頑張りたい」と意気込みを話してくださいました。

総務部

総務部にベージュ色のかわいい公用車がやって来ました。エアコンの効きも良く快適な移動が出来ます。今回はバックモニターも付いているので駐車も分かりやすくスイスイ、でもなぜかナビは付いておりません??

令和2年度決算報告を福成会のホームページに掲載しています。

↓
www.fukuseikai.or.jp

編集後記

スタッフ一同、生活の根幹を支えるエッセンシャルワーカーとして、日々の業務にあたっています。先の見えない中、不安を感じている方も多くおられます。私たちは、今後もできる限りのことを精一杯やっていきます。この広報誌「ふふふ」も、引き続き読まれる方が少しでもホッとできるものとなるよう、作ってまいります。次回は1月発行予定です。

